

新オフセット前面衝突試験の子供ダミーを搭載した試験・評価方法の作成等について

《背景》

- EuroNCAP では 2020 年より開始した新たな前面衝突試験方法で後席に子供ダミーを搭載し評価を実施している
- JNCAPにおいても令和6年度より導入されている、新オフセット前面衝突試験について、後席における子供乗員の安全性向上を目的として、自動車アセスメントロードマップにおいて、令和8年度より後席に子供ダミーを搭載した評価の開始を掲げている。

《導入スケジュール案》

- 令和5年度（2023年度）（調査研究）
 - ・子供ダミーを搭載した試験方法・評価方法の検討課題の抽出
 - 試験方法（車室が狭い車両の試験実施、子供ダミーの後席左右搭載位置、CRS の選定方法等）
 - 評価方法（事故実態を踏まえた評価結果の示し方、傷害閾値と部位毎の得点配分）
 - ・検討課題の検証
実車(軽自動車)にダミー4体を搭載し、MPDB 衝突試験を実施して確認
- 令和6年度（2024年度）（調査研究をもとに検討会提案）
 - ・子供ダミーを搭載した試験方法・情報提供方法の検討 → R7 年度引続き検討
- 令和7年度（2025年度）
 - ・子供ダミーを搭載した試験方法・情報提供方法の検討・確認（プレテスト）
- 令和8年度（2026年度）
 - ・子供ダミーを搭載した情報提供開始

検討事項（赤字：今回の検討事項、黒字：次回以降の検討事項、灰字：意見が一致した事項）

■ 子供ダミーの搭載位置

- ・後席運転者席側に Q6 ダミー、後席助手席側 Q10 ダミーを搭載

■ ダミーの傷害値等の計測項目

- ・Q6 ダミーは頭部、首上部、胸部の計 13ch を計測し、Q10 ダミーは頭部、首上部、胸部、腰椎、腰部の計 25ch を計測し、ともに頭部、頸部、胸部の 3 項目の傷害値からスライディングスケールを用いて点数を算出。
- ・頭部移動量の計測方法（令和 7 年度第 2 回検討会で提案、次年度継続して検討したい）

■ 試験結果のユーザーへの分かりやすい説明と表記

- ・新オフセット前面衝突試験の得点に反映するのではなく、試験結果として得られる傷害値等から算出した点数を各部位毎に合計し、情報の見せ方として 5 段階の色分けで示し、後席子供乗員に対する衝突安全性能を自動車ユーザーに情報提供する。
- ・傷害値情報の 5 段階配色の具体的な見せ方（令和 7 年度第 1 回検討会意見対応）
- ・映像確認結果について事象の定義
- ・映像確認結果の見せ方（令和 7 年度第 1 回検討会意見への対応）
- ・首かかりについて撮影方法（確認方法）の検討（可否含む）と指標作成（次年度以降としたい）

■ CRS の選定方法

- ・メーカー推奨ジュニアシートとし、設定が無い場合はメーカーが選定するジュニアシート（法規に適合した国内で入手可能なものに限る）

■ ジュニアシートの普及促進の検討

- ・新オフセット前面衝突安全性能試験による情報提供とともにジュニアシートの周知、啓発（ジュニアシートの使用効果と正しい装着の啓発等）